

1. 室内機は水平に取り付け、ドレン側が絶対に高くならないこと
2. ボードアンカー(傘式・金属製)の打つ数は、メーカー仕様に準ずること（最低6発）
3. アース線は白色で、電源コードにインシュロック(白色)で数か所を括り、内機の上側にコンセントがある際は内機上側から直接入れ施工
4. スリムダクトで勾配をとる
(ダクト内で勾配をとっているのは不可)
5. 貫通部は、換気した際に空気を吸って結露しないように、パテにて穴埋めをきっちりと行うこと
6. 屋外のビス止めは、ドブづけは不可とし、すべてSUS製を使用する
7. 屋外の雨がかりにならないところは、コーティングしない
(指摘が上がれば相談し施工)
8. 屋外スリムダクトの端末カバーは取り付けない
(エアカットバルブを操作するため)
9. エアカットバルブは、お客様が自身で清掃しやすいように、室外機上辺りに設置する
10. エアカットバルブの1次側は、ドレンホースをしっかりと押し込んでからピン止め固定すること
(テープ巻はしない) ←ヴェルデ仕様
11. エアカットバルブは、ドレン管 (VP20にドレンフレキを50~100mm程度) に差し込みテープ巻なしとする
お客様が抜き出し、振り回して掃除ができるように
12. バルコニードレン配管の支持材は、ビスうち不可
ポリプロピレン用のボンドを使用する事(例：GPクリヤー)
13. 室外機床置きの際でも下部ドレンを取り付けること
14. ドレンの先には、エルボをつけず、溝縁から10~15mm出す